

第5回各務原市特別支援学校建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和2年11月9日（月）午後1時30分より
場 所 各務原市役所 産業文化センター2階第3会議室
出席委員 出口和宏委員長、松村齋副委員長、田代真理子委員、安田ゆかり委員、
加藤英優委員、関エリコ委員、大谷弘委員、木全かおり委員、
兒玉哲也委員
欠席委員 安田寿之委員

1. 委員長挨拶
2. 議事
 - ①基本構想について
 - ②基本計画について

議事録（要旨）

主な意見及び質疑応答	
事務局	会議を始める前に、2点連絡したい。 1点目は、前回の会議以降の動きについて少し報告させていただく。 前回までの策定委員会での議論を踏まえ、最終的に最も望ましい整備候補地として鵜沼羽場町（B エリア）地内の土地を選定していただき、その旨を出口委員長から市教育長に対して中間答申をしていただいた。中間答申については、委員の皆様には郵送で資料を送付させていただいている。この中間答申を受け、選定した整備地について、教育委員会及び各務原市において審議した結果、市としてこの土地に特別支援学校を整備するということで決定した。土地が確定したため、今後は用地取得に向けた取組を行っていく。 2点目は本日の会議資料について、本日は説明資料が多い都合上、委員の皆様には事前に一人ずつ説明させていただいたため、本日の会議の場では、簡易な説明で進めさせていただく。
委員長	今説明があったように、前回までの会議で、整備候補地までが決まった。今日は、前回に引き続いて機能についての話と、さらにもう少し踏み込んだ建築の計画に関する話をしていきたい。

議事 ①基本構想について

資料１ 各務原市特別支援学校整備基本構想・基本計画（素案）

資料２ 関係者から寄せられた意見

事務局説明	
・基本構想・基本計画（素案）の施設の機能・規模について（I-18ページまで）説明した。 ・関係者から寄せられた意見について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	I-17ページまでの部分で、「機能・規模について」、委員一人ずつに何か意見、質問を伺いたい。
委員	正門については、バスや保護者の車両と生徒の出入口が同じであることが気になる。車両と歩行者の出入口は分けると事故は減ると思う。車両の入口と出口も分けた方が良い。5、6割の生徒がバスに乗ると思うため、バスロータリーに停められる台数が3、4台で足りるのかは検討が必要であると思う。 遊具広場があることはとても良いと思うが、バスの動線と近いことが気になる。遊具広場は出入口から遠く、校舎の近くにあると良いと思う。保護者の送迎用駐車場が校舎の近くにあることは良いと思うため、雨除けを付けると良いと思う。
委員	グラウンドは部活やクラブ活動に加え、地域交流の場となるように整備すると良いと思う。 駐車場は多くあるが、夏場は暑くなるため、日陰や雨除けがあると良いと思う。安全面や活用面を考慮して整備して欲しい。遊具広場は中庭を活用すると良いと思う。
委員	スヌーズレン室は、希望が丘特別支援学校や福祉の里つくしにもあるため、専門家の意見を取り入れながら、整備すると良いと思う。 家庭科室でさをり織ができると良いが、男女比では男性が多いため、性別なども考慮しながら整備を進めて欲しい。
委員	遊具広場は出入口の近くではない方が良いと思う。配置は検討が必要であると思うが、中庭を活用することは良いと思う。 運動会等の大きな行事の際に、保護者用の駐車場が足りるのかは気になる。福祉避難所の機能として、備蓄倉庫の面積が70㎡であることは妥当なのか伺いたい。

事務局	防災用の備蓄倉庫として 70 m ² が妥当なのかについては、今後研究していきたい。
委員	特別教室については、どのような作業学習を行うのか明確にしてから整備を進めて欲しい。また、後から設備を変更できるように整備すると良いと思う。職員室は、小中高で一つで良いのかは意見を伺いたい。
委員長	作業学習の現特別支援学校からの移行についてどのように考えているのか伺いたい。
事務局	柔軟に対応出来るように部屋の整備は進めるつもりである。現段階では木工室等の名前で、面積を確保しておき、今後の基本設計・実施設計で、より詳細に使い方を決めていきたい。
委員長	既に行っている学習の引継ぎは今後も考えて整備を進めて欲しい。職員室については、最初は一つで整備したが、収まりきらなくなった事例もあるため、今後の検討課題としたい。
委員	保健室は年齢層などを考えると、小中高で一つしかないのは良いのか気になる。間仕切りで分けることも良いと思う。 多目的室を喫茶として使うことは、地域の繋がりにとても有効であると思う。校門の近くに喫茶の出入口を整備しているところもある。地域の人が利用しやすい所に整備すると良いと思う。
委員	職員室は小中学部と高等部は分けても良いと思う。高等部の入試内容は厳密に管理する必要があるため、分けると良いと思う。小中学部と高等部の教員の連携は、職員室を分けても、意識次第で良くなると思う。 年齢なのか障がい種別なのかは分からないが、保健室については、一つではなく、分けたほうが良いと思う。 中庭では、水に慣れる練習ができるような給水設備にして欲しい。中庭と廊下は掃き出し窓で、行き来が自由にできると良いと思う。
副委員長	死角が少なくなるように整備をしていくと良いと思う。子どもたちの安全を意識して整備を進めて欲しい。 作業学習が中心になりがちだが、思考力やコミュニケーション力が重要であると思う。就職先で行う作業が、学んできた作業とは違うことがあるため、分からないことは聞けるコミュニケーション力や自己決定力を身に付けられるような教育をして欲しいとの声がある。これらを身に付

	けるために重要な国語や算数、数学で用いる自作教材を収納するスペースが無いことをよく聞くため、収納できる教材室があると良いと思う。
委員長	今後の作業スケジュールを伺いたい。
事務局	今回の意見を踏まえて、基本構想・基本計画を見直していくつもりである。
委員長	次に、I-18 ページ「第6章 事業の進め方」の部分で、委員一人ずつに何か意見、質問を伺いたい。
委員	現特別支援学校は平屋で木が多くとても良い雰囲気であると思う。不登校の子どもの適応指導教室や岐阜市で行っているトワイライト通級の教室として使うのが良いと思う。
委員	子どもがゆったりと過ごせる施設として欲しい。不登校の子どもの適応指導教室やトワイライト通級の教室として使うのは良いと思う。他の学校の子どもの交流の場とするのも良いと思う。特別な支援が必要な人のための施設として使うのが良いと思う。
委員	民間活用は反対である。芸術活動や地域の人との交流の場として使うのが良いと思う。
委員	不登校の子どもの適応指導教室として使うのは良いと思う。学校の教室をうまく利用して欲しい。特別支援学校を卒業した後、困った時に相談できる施設として使うのも良いと思う。
委員	教育相談センターや教育研修センターとして使うのは良いと思う。子どもの美術展などで一般開放するのも良いと思う。障がいのない人も利用できる施設として使うのが良いと思う。
委員	子どもたちのために有効活用して欲しい。色々な所からアクセスしやすいため、教育のセンターのような拠点施設として使うのは良いと思う。場所や設備はとても良いため、子どものために使って欲しい。
委員	生涯学習施設として、高齢者や乳幼児の方々も出入りできるような複合的な施設として使うのが良いと思う。また、家庭科室や陶芸室は残して、ライフデザインセンターのような使い方のできる施設にするのが良いと

	思う。
副委員長	教育施設としての存続が良いと思う。立地が非常に良いので、立地を生かした機能を持たせたい。その筆頭として、適応指導教室が良いと考える。対象の子が気兼ねなく通える環境にあるのではないかと思います。最終的には市が決めることだが、今後議論してもらいたい。
委員長	最終的には、市として決定されることと思うため、委員としては、公共的施設として残すという意見でまとめたい。

議事 ②基本計画について

資料１ 各務原市特別支援学校整備基本構想・基本計画（素案）

事務局説明	
・基本構想・基本計画（素案）の基本計画について（Ⅱ－１ページ以降）説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	事前に事務局から説明を受けて、委員には考えをまとめていただいていると思う。委員一人ずつに何か意見、質問を伺いたい。
委員	水路の形状について、オープン形式と閉鎖形式が何か伺いたい。
事務局	水田などにある、水路の上が開いているのがオープン形式である。オープン形式の場合は、グレーチング部やフェンスを設けるなどして、子どもが落ちないようにするつもりである。閉鎖形式とは、コンクリートのトンネルのようなものをつくり、その中を水が流れる形式である。今回の配置案はあくまで、計画地に入りきるのか確認するもののため、どのような形式にすれば危なくないのか等は、今後の基本設計や実施設計でさらに検討していく。
委員	子どもが落ちない配慮はしっかりしていただきたい。また、シャワートイレのスイッチを間違えて押してしまわないか気になる。
事務局	今の案では、普通のスイッチ式であるため、間違えて押してしまうことは否定できない。最新のものは誤作動が起きにくいものもあると聞いているため、今後も研究していきたい。
委員	保健室は外からすぐ入れる所に配置すると良いと思う。よく見えて、誰でも行きやすい場所にして欲しい。

委員	保健室にも洗濯機やシャワーがあると便利だと思う。 色々な樹木を植えることは良いことだと思うが、管理の手間は考える必要があると思う。木を植えすぎると、その後管理が大変になるため、ランニングコストを考慮して木を植えると良いと思う。
委員	水路をオープン形式にするのであれば、子どもが落ちないようにし、閉鎖形式にするのであれば、子どもが水路に入ってしまった時のために、所々中が見られるようにする必要があると思う。 体育館は一般開放するなら、玄関を分ける等の配慮が必要であると思う。 校長室は事務室に隣接した方が良いと思う。 小学部の食の指導は教室で行うのが良いと思う。食堂は授業の時間のずれ等があることを考えると、広い食堂だと音の響きが気になる子どももいると思うため、音の響きづらい食器や椅子、机を使うのが良いと思う。
委員	鉄筋コンクリート造であることは、長く使えて良いことだと思う。2階建てであることも良いと思う。 体育室のステージは車椅子の子どもが上がれるようにスロープや昇降機を設置しているところもあるため、検討すると良いと思う。 非常用自家発電設備があることはとても良いと思う。人工呼吸器を使っている子どもに対しては、命を守ることに繋がるため、非常用自家発電設備は、とても重要であると思う。 全熱交換型換気扇は体温調節の難しい子どもに対して配慮がされており、とても良いと思う。
委員	体育室の下は、音の響きがあると思うため、少し音があっても気にならない部屋を配置するのが良いと思う。 怪我をした時には洗浄がとても重要なため、保健室にはホースで水を出し、怪我をした足等が洗えるような大きめの洗い場があると良いと思う。 また、保健室には、畳でクールダウンや車椅子の子どもが寝られるスペースがあると良いと思う。 植える樹木については、剪定や収穫の学習等ができるものにするとう良いと思う。 トイレについては、スペースや扉の向きなどに配慮して使いやすくすることがより重要であると思う。また、トイレの中で何か起きた時に、すぐに対応出来るような工夫が必要であると思う。
委員	クールダウンできるスペースは少なく感じたため、整備して欲しい。 プールの更衣室は男女で別にする等、性別にも配慮して整備を進めて欲

	しい。 木のぬくもりは重要であると思うが、授業中などに子どもの気が散らないように、すっきりとした教室にすると良いと思う。 子どもたちの意見を取り入れる等して、「僕たちの学校ができた。」と思えるように整備を進めて欲しい。
副委員長	急な温度変化を無くすためやコロナウイルス対策には、トイレの空調はとても重要であると思う。
委員長	スヌーズレン室は普通教室ではなく、重複の部屋の近くが良い。 畳などでクールダウンできる部屋はより多くして欲しい。
委員	新しく特別支援学校を整備した時に、直ぐに定員が埋まってしまうと指摘を受けることがある。特別支援学級から新しい特別支援学校に転校させたいという保護者も増えると思うため、適正就学の問題もあるが、子どものニーズに合わせて転校ができるように整備を進めて欲しい。
委員長	子どもや保護者のニーズに合わせて転校できるように、ソフト面も含め整備を進めて欲しい。
事務局	今回の委員会の意見を踏まえて、基本構想・基本計画の修正を行っていく。新設学校は令和7年度の開校を目指して整備を進めていきたい。 現特別支援学校の今後の利用方法については、他用途への転用をメインとして調整していくが、最終的には市の方針を決めることとなり、必ずしも委員の方々によって決められるものではないことは承知していただき、座談会等での意見も踏まえて、今後も検討していく。

3. その他

(事務局) 次回については、1月12日の火曜日に、本日と同じ13時30分から2-4会議室で開催する。